

<Japan Buy-out Deal Conference in 福岡>
企業価値向上シンポジウム

～事業再編、事業承継、事業再生における戦略的視点～

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、福岡にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業の競争力強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、福岡を中心とする九州地区の企業の経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための戦略オプションとして認識されつつあります。九州地区においても、未上場オーナー企業の事業承継にバイアウト・ファンドが活用された事例、再生企業がバイアウト・ファンドから資金調達をして抜本的な経営改革を行った事例、中堅上場企業がバイアウト・ファンドを活用して戦略的非上場化を行った上で中長期的な視点で経営改革を実行した事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行い成長・発展を目指す企業の経営者、後継者問題を抱えるオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す再生企業の経営者、M&A を検討している企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要領

【日時】

2013 年 3 月 13 日 (水) 13:10～17:30 (12:40 受付開始)

【場所】

TKP ガーデンシティ博多 (JR 博多駅徒歩 5 分)

【参加費】

1 名 18,000 円 (税込)

【主な参加対象】

- ・ 未上場オーナー企業の経営者、上場企業の経営者 (経営企画担当、財務担当、海外企画担当、社長室など)
- ・ MBO (management buy-out) 等のバイアウト実施企業の経営者
- ・ 地域金融機関 (地方銀行、信用金庫など)、大手銀行、証券会社
- ・ 弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】

申込書での FAX 送信か Web サイト上 (<http://www.jbo-research.com/>) で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsor

Deloitte. トーマツ.

Co-sponsors



東京海上キャピタル株式会社
TOKIO MARINE CAPITAL CO., LTD.



Advantage Partners, LLP

主催：株式会社日本バイアウト研究所

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

プログラム

受付開始 (12:40)

基調講演 (13:10-13:50)

テーマ: M&A・バイアウトの手法と留意点

講演者 デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社 パートナー 公認会計士 福島和宏氏

<概要>

バイアウトの概要や活用についての理解を深めつつ、バイアウトのタイプとスキームにおける留意点について説明する。

マーケット・レビュー (13:50-14:10)

テーマ: 九州地区・中国地区・四国地区のバイアウト案件の動向

株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

事業再編、事業再生、事業承継、上場企業の非上場化におけるバイアウト・ファンドの活用事例、九州地区（福岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県、熊本県、佐賀県、長崎県）と中国・四国地区のバイアウト案件の動向、エグジット案件（株式公開、M&A、その他）の動向について解説する。

休憩 (14:10-14:20)

事例紹介① (14:20-14:50)

テーマ: バイアウト手法による事業承継とビジネスモデルイノベーション ～キューサイ等の事例～

ボラリス・キャピタル・グループ株式会社 代表取締役社長 木村雄治氏

<概要>

2011年3月の東日本大震災の後、オーナーにとっては事業承継問題を早期に解決し、経営者にとっては事業再編・再構築を推し進める動きが高まっている。企業価値向上に向け、経営者が起業家精神を持ち旧態依然としたビジネスモデルを刷新していくことが急務となるが、特に中堅企業には固有のしがらみが存在しリソースが欠如しているのも事実。オーナーや経営者が抱えるこうした問題に対しバイアウトの活用が一つのソリューションとなり得ることを、キューサイ等の事例を用いて説明する。

事例紹介② (14:50-15:20)

テーマ: 地域中小企業の持続的発展を可能にする「事業承継ファンド」～企業経営者の視点・地域金融機関の視点より～

日本プライベートエクイティ株式会社 代表取締役社長 法田真一氏

<概要>

2000年の会社設立以降、12年にわたり、中小企業の事業承継、事業再編に関わるバイアウト案件に特化してファンド運営を行ってきた観点から、中小オーナー企業で顕在化する事業承継問題を乗り越え、地域において持続的に会社を成長発展させていくための一つの手段としての事業承継ファンドの役割や活用法について、企業経営者、地域金融機関の双方の目線から解説する。

事例紹介③インタビュー・セッション (15:20-15:55)

テーマ: 「地方」におけるファンドの役割とは ～佐賀県温泉旅館の再生事例を通じて～

株式会社福岡キャピタルパートナーズ 投資事業部 部長代理 長谷尾勲氏

株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント佐賀 代表取締役 浅生亜也氏

聞き手: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

地方にはポテンシャルを有しながらもさまざまな要因で苦戦を強いられている企業が数多く存在する。地域特化型ファンドを運営する中で、地域経済活性化のためにはそうした企業の再生が喫緊の課題と捉えており、企業と共に解決に向けた取組を実践している。今回、その一例として佐賀県古湯温泉の大型温泉旅館『ONCRI』（旧『吉花亭』）の、ファンドを活用した再生への取組を旅館代表者とともに紹介する。そして、本事例を通じて、地方においてファンドが果たすべき役割と再生ビジネスへの関わり方を解説する。

コーヒーブレイク (15:55-16:10)

パネルディスカッション (16:10-17:30)

テーマ: 日本の中堅・中小企業の新ステージへの飛躍に向けて ～九州企業のバイアウト・ファンド活用事例と今後の展望～

討論者 東京海上キャピタル株式会社 ジェネラルパートナー 佐々木康二氏

アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 マネージング・パートナー 飯沼良介氏

ボラリス・キャピタル・グループ株式会社 パートナー 飯沼昭氏

アドバンテッジパートナーズLLP パートナー 馬場勝也氏

司会者 有限責任監査法人トーマツ 福岡事務所 FAS 部門 パートナー 増村正之氏

<概要>

中堅企業のファンド活用事例は九州地区においても多数存在する。ドラッグイレブン（本社：福岡県大野城市、事業内容：ドラッグストア）やキューサイ（本社：福岡市中央区、事業内容：健康食品の通販）に加え、大手商社とファンドが共同出資しているバーニーズジャパン（本社：東京都新宿区、事業内容：専門店運営）が「バーニーズニューヨーク福岡店」を開店したケースなどが存在する。また、旭化成の事業再編により誕生した日本海水（本社：東京都中央区、事業内容：製塩業）がファンドとともに民事再生法を申請した浦島海苔（本社：熊本県玉名市、事業内容：海苔・ふりかけ・茶漬製品の製造）を支援したケースや、ファンドの支援を得て出店を加速したウィルプラスホールディングス（本社：東京都大田区、旧福岡クライスラー（旧本社：福岡市博多区）事業内容：輸入車販売）のケースのように業界再編につながった事例も存在する。本セッションでは、これらの案件にも関与した九州出身のプロフェッショナルをお招きし、日本の中堅企業が、事業承継や戦略的非上場化を含めた株主構成の最適化、ガバナンス体制の構築、組織体制の強化、M&Aなどの成長戦略の推進を行う上でのバイアウト・ファンド活用の意義について議論する。

Japan Buy-out Deal Conference について

日本バイアウト研究所では、M&A、バイアウト、事業再生に関与している実務家、金融機関、事業法人の皆様には有益な情報を発信するために、カンファレンスの企画・開催を行っております。

近年は、特に、日本企業の海外進出におけるバイアウト・ファンドの戦略的活用、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の事業承継、大企業の事業再編に伴う子会社の戦略的売却、上場企業の戦略的非上場化、プロフェッショナル経営者・プロフェッショナル CFO の育成などのテーマでの情報発信に力を入れております。

2011年4月6日(水)に東京で開催しました Japan Buy-out Deal Conference 2011 では、震災直後にもかかわらず、約 240 名の参加があり、盛会裏に終了致しました。今後は、地方の企業の皆様にも、バイアウトの理解を深めて頂く機会をご提供できればと思います。2013 年には福岡でも開催することになりました。九州地区の企業の活性化に貢献できれば幸いです。



東京開催時の会場の様子

☆参加者からの声☆

- ・オーナー企業の成長にバイアウト・ファンド活用が有効な手段であることが認識できた。
- ・中国市場における展開にバイアウト・ファンドが果たした役割の大きさが改めて感じられた。
- ・経営者とともに真摯にハンズオンに取り組むファンド担当者の姿勢が印象的だった。
- ・バイアウト・ファンドの担当者の人柄などを見聞きすることができて非常に有意義だった。
- ・ファンドの側と企業側の双方の立場と意思がうまくベクトルを合わせながら企業成長を実現していく事例に関心を持った。
- ・ファンドと投資先の良好な関係構築が双方にとって如何に重要かということがよく理解できた。

<日本企業のバイアウト>シリーズのご紹介

経営課題を抱えた企業や成長意欲のある企業に対して、バイアウト・ファンドが各種のソリューションを提供している実態を、実際の事例を通じて明らかにしたビジネス専門書。「事業再編」、「事業再生」、「事業承継」、「プロフェッショナル経営者」をテーマとし、バイアウトの事例と経営者インタビューを豊富に収録。



事業再編とバイアウト

編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2011年3月22日
仕様：A5判・468頁・上製
定価：3,990円(本体3,800円)
発行所：中央経済社



事業再生とバイアウト

編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2011年3月22日
仕様：A5判・448頁・上製
定価：3,990円(本体3,800円)
発行所：中央経済社



事業承継とバイアウト

編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2011年3月22日
仕様：A5判・436頁・上製
定価：3,990円(本体3,800円)
発行所：中央経済社



プロフェッショナル経営者とバイアウト

編者：日本バイアウト研究所
刊行日：2012年8月25日
仕様：A5判・約330頁・上製
定価：3,780円(本体3,600円)
発行所：中央経済社

株式会社日本バイアウト研究所

日本におけるバイアウトを中心とする投資ファンド専門の研究機関。学術的な視点も兼ね備えた完全独立系のシンクタンクとして、中立的な立場から日本のバイアウト市場の調査・分析を行い、バイアウトに関する出版物の刊行・販売、セミナー・カンファレンスの企画・開催、同分野に関する調査・コンサルティングの受託を行っている。具体的には、日本のバイアウト市場の統計データを定期的に公表し、専門誌『日本バイアウト市場年鑑』の刊行、Japan Buy-out Deal Conference などのカンファレンスの開催、官公庁からの委託調査の受託、各種の講演・セミナーなどを手掛けている。

代表者：代表取締役 杉浦慶一

URL: <http://www.jbo-research.com/>